

(宛先) 笠間市長

誓 約 書

住 所
[所在地]

氏 名
[法人名]
[代表者]

印

私は、この申請に当たり、下記のとおり誓約します。
この誓約に反したことにより、不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

- ① 所得税、法人税、市県民税等、個人又は法人として賦課される公租公課を滞納していません。
- ② 破産、民事再生、会社更生、会社（私的）整理、特別清算若しくはこれらに類する倒産手続開始を第三者から申し立てられた者、自ら申し立てた者又は自ら申し立てる予定がある者ではありません。
- ③ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）若しくは同条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は次のいずれかに該当する者ではありません。また、法人の役員も次のいずれかに該当する者はいません。
 - ア 暴力団員でなくなった日から5年を経過していない者
 - イ 当該物件を暴力団事務所又はその敷地その他これらに類する目的で使用しようとする者
 - ウ 法人の役員等が暴力団員である者又は暴力団員がその経営に実質的に関与している者
 - エ 自己、自社若しくは第三者の不正な利益を得る目的又は第三者に損害を加える目的で暴力団又は暴力団員を利用している者
 - オ 暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し又は便宜を供与するなど直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し又は関与している者
 - カ 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
 - キ 暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用している者
- ④ 当該貸付物件又は許可物件の使用に伴い、笠間市暴力団排除条例（平成23年条例第26号）を遵守し、暴力団を利することとならないよう措置を講じて暴力団排除に協力し、暴力団等から業務の妨害その他不当な手段による要求を受けた時には、笠間市長に報告するとともに笠間警察署に届け出て、捜査上必要な協力を行います。
- ⑤ 無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律（平成11年法律第147号）に基づく処分の対象となっている団体及びその構成員ではありません。
- ⑥ 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条に掲げる営業に該当する者ではありません。
- ⑦ 銀行取引停止、主要取引先からの取引停止等の事実があり、客観的に経営状態が不健全であると判断される者ではありません。
- ⑧ 前記①から⑦までのいずれかに該当する者の依頼を受けて申請しようとする者ではありません。
- ⑨ 前記①から⑦までのいずれかに該当する者を契約の締結又は契約の履行に当たり代理人、支配人その他使用人として使用する者ではありません。
- ⑩ 当該物件を転貸する目的ではありません。